



あいさつの力 ～鬼塚小のアレでさらに Power Up!～

5月1日の全校朝会で、あいさつに関する話をしました。実は4月の生活目標が「気持ちのよいあいさつをしよう」でしたが、4月の段階では、職員や地域の方から「もう少し元気が欲しいかな?」といった声が聞こえてきていたからです。以下、校長の話を紹介합니다。

うれしいことがありました。

昨日の朝、運動場側の階段の下にあいさつ運動に行きました。登り口に草がだんだん増えてきていたので、ついでに草むしりをしていました。そうすると、しゃがんだり立ったり、引っこ抜くのに力もいりますから、だんだん疲れて少し嫌な気分になりかけていました。

その時です。はるか遠くの方から「おはようございます」と元気なあいさつをしてくれるのです。遠くだったので誰かはわかりません。名前を聞かなかったのが失敗だったなと思いましたが、そのあいさつのおかげで元気をもらって、とても幸せな気分で一日をスタートすることができました。たった一言、たった1秒ぐらいで、誰かを元気に、幸せにするあいさつの力。あらためてすごいなと思いました。

あいさつの言葉、ほかにもありますよね。「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」etc…。みなさんもぜひあいさつで誰かを元気にしてほしいし、誰かから元気をもらえるんだということを感じてもらいたいと思います。

そんなにすごいあいさつの力ですが、もっと威力を高めるコツがあります。

『えがおであいさつ』です。ただあいさつをするより、何倍も元気に、何倍も幸せな気持ちにしてあげることができます。えがおの威力はみなさんが一番よく知っていますね。ぜひ『えがおであいさつ』してみてください。

「面倒くさいな」とか「ちょっと勇気がいるな」と思う人がいるかもしれませんが。なくても困らないと思う人もいるかもしれませんね。でも、あいさつには、元気をやり取りするだけでなく、自分を好きになる力もあります。

面倒くさい自分に勝って、勇気を振り絞ってあいさつするということは、できなかったことができるようになる、自信がつくということです。そうすると、もっと自分のことが好きになりますよ。ぜひ頑張ってみてください。

笑顔ソムリエ

そろえる

むごんそうじ

りつよう

えがおであいさつ



この頃、元気にあいさつできる子が増えてきています。家庭や地域にも『えがおであいさつ』が広がることを願っています。大人も負けずに『えがおであいさつ倍返し』はどうでしょう!?

「楽しかった」の向こう側



5月2日は遠足でした。今年は今のところ何かと天気に恵まれています。きっと誰かのおかげです(?)。感謝です!

遠足。保護者の皆様ももれなく経験されてきたことでしょう。思い返せば「疲れたけど楽しかった」「お弁当がおいしかった」など、楽しかった記憶ばかりではないでしょうか。

そんな遠足には、楽しい思い出作りにとどまらない教育的価値があることも、この機会にお伝えしたいと思います。

“全校または学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神や社会性を養う”。本校で設定したこのねらいに照らして今回の遠足を振り返ると、多くの「体験を通した学び」があったことがわかります。

6年生が企画した遊びを子ども達同士協力し合って実行する。楽しい時間を共有して鬼塚小学校への所属感や子ども同士学年を超えた連帯感を深める。当日一緒だった浜崎小や成和小のみなさんと広場を分け合って使う…。見事に合致します。子ども達は、座学では、一人ではできない「体験を通した学び」を積み重ねて成長・進化を繰り返していきます。様々な機会を奪われたコロナの時代を考えると、ほんとうに貴重な時間だとつくづく思います。

「楽しかった」の向こう側にある子ども達の成長。よく観察していただくと、昨日までとは違うお子さんの姿に気づかれるかもしれません。保護者の皆様と成長の喜びを共有できれば幸いです。

子ども達の安全のために ～送迎時のお願い～

車での送迎につきましては、「一方通行」にご協力いただきありがとうございます。年度当初に見られた逆走する車も今はほぼありません。今後ともどうぞ引き続きよろしくお願ひします。

一方で、雨天時の渋滞はいまだ解消されず、今後、線状降水帯の発生など緊急に保護者引き渡しをお願いする際には、大変な混雑が予想されます。学校としては、児童の安全確保が難しくなることに加え、近隣住民の方に多大なご迷惑をかけてしまうことも心配しています。

つきましては、特に目詰まりしがちな学校南西の入口付近の往來を確保するため、入口付近に駐車したり途中で停車したりせず、小運動場に駐車し大運動場側から出ていただくよう切にお願いします。

